

第19回ジャパンデフバレーボールカップ川崎大会 開催要項

1. 名 称

第19回ジャパンデフバレーボールカップ川崎大会

2. 目 的

全国のデフバレーボール選手が技を競い、心身の鍛錬と連携、協調の精神を養い、デフバレーボールの健全な普及を図り、聴覚障がい者自身の自立と積極的な社会参加を促進し、あわせてデフスポーツに対する正しい理解を深めることを目的とする。

3. 開催期間

平成30年 2月23日(金) ～ 平成30年 2月25日(日)

大会1日目 14時～16時30分 監督・主将会議・開会式

大会2日目 9時～19時 予選リーグ

大会3日目 9時～17時 決勝トーナメント戦・交流試合・表彰式・閉会式

4. 会 場

カルッツかわさき・川崎市立川崎高等学校

5. 主 催

一般社団法人日本デフバレーボール協会(以下 JDVA略記)

6. 共 催

川崎市・公益財団法人川崎市スポーツ協会・川崎市バレーボール協会

7. 主 管

第19回ジャパンデフバレーボールカップ 川崎大会実行委員会

8. 競技主管

JDVA大会運営部・一般財団法人神奈川県バレーボール協会

9. 後 援(予定)

川崎市教育委員会・一般財団法人全日本ろうあ連盟・公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
日本デフスポーツ団体協議会

10. 協 賛(予定)

株式会社ミカサ・株式会社モルテン・大塚製薬株式会社・オンヨネ株式会社

11. 協力団体

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会・富士ソフト企画株式会社・桂川電機株式会社・
株式会社インサイドワーク・富士通株式会社

12. 参加資格

1. 選手はJDVA会員かつ聴覚障がい者で、中学生以上（平成29年4月1日現在）であること。
2. 健聴者はJDVA会員であれば、スタッフ（監督・コーチ・マネージャー等）として参加できる。

13. 競技規則

1. 当年度の公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。
2. 使用球は、公益財団法人日本バレーボール協会検定5号球カラーボールを使用する。
（男子はモルテン、女子はミカサを使用する。）
3. ネットの高さは男子（2m43cm）、女子（2m24cm）とする。

14. チーム構成

1. 1チームの人数は、監督・コーチ含むスタッフ4名、選手14名以内、計18名以内とする。
2. 12名を超える選手構成になる場合、リベロは必ず2名登録しなければならない。
* 12名以下の選手構成の場合、リベロなし・1名・2名のいずれかで登録できる。
3. 監督、コーチまたはスタッフが選手を兼ねる場合は、選手登録名簿に記載しておくこと。

15. 競技方法

競技は、グループに分けて予選リーグを行い、予選リーグの上位チームによる決勝トーナメント戦及び、予選リーグ下位チームによる交流試合を行う。全試合3セットマッチとし、3セット目は15点を上限とする。ただし、交流試合は参加チーム数によって1セットマッチのルールを適用する場合がある。

※予選リーグ及び、決勝トーナメント戦や交流試合の試合形式については、主催者側で決定し、1月下旬にJDVAホームページ（<http://www//jdva.ne.jp/>）上で公表するとともに、チーム代表者にはメールで通知する。また、促進ルール等については競技実施要項に従い、監督・主将会議で説明を行う。

16. 組合せ

本大会の組合せは、大会実行委員会において、審判委員長立会いの下で適正に行う。

※ 1月下旬にJDVAホームページ（<http://www//jdva.ne.jp/>）上で周知するとともに、チーム代表者にはメールで通知する。

17. 申込方法及申込期限

「第19回ジャパンデフバレーボールカップ川崎大会参加申込書」をJDVAホームページよりダウンロードし、平成29年12月14日（木）までに、メールで申し込むこと。

18. 選手変更・抹消・追加について

申込締切日（平成29年12月14日（木））までは、選手変更・抹消・追加をすることが出来る。締切日以降は、平成30年2月8日（木）まで実行委員会が認めた場合は、選手の変更のみ行うことができるが、選手の追加・抹消は行うことができない。

19. 表彰

表彰は次のとおりとする。

成績	表彰内容
優勝チーム	チームに賞状と優勝カップ，選手全員に金メダル授与
準優勝チーム	チームに賞状，選手全員に銀メダル授与
第3位チーム	チームに賞状，選手全員に銅メダル授与

※ 優勝チームに対して、次回大会時に記念レプリカを授与する。※表彰式は閉会式において行う。

	成績	表彰内容
個人賞	MVP	表彰選手に賞状と記念品授与
	ベスト6	表彰選手に賞状授与
	ベストリベロ	表彰選手に賞状授与
	最優秀監督賞	表彰監督に賞品授与